

# 令和3年度運営方針(案)について

## I. 竹林整備事業

- ① 既存竹林の整備・・・小谷竹林、島田竹林、石清水竹林、展望台竹林、本妙寺竹林の整備を継続すると共に交付金の対象となる内里竹林と円福寺竹林を整備して参ります。今年度は交付金申請の最終年(3年目)であります。昨年追加した円福寺の住宅側竹林の皆伐も今年度が交付金対象の最終年度となります。
- ② 期限付き竹林整備・・・人手不足により個人で竹林を維持する事が困難になりつつある竹林が増えました。「八幡たけくらぶ」の方針に沿った環境保全に役立つ内容であれば要請に応じて整備・粉碎等を有償にて対応します。
- ③ 林野庁への新規申請・・・今年度が申請3年目の最終年となりますので交付金対象の内里竹林、円福寺竹林に勢力を注ぎ、今年度(令和3年度)の新規申請は見合わせます。

## II. 同好会活動

- ① 竹細工同好会・・・毎月第2土曜日の午前中を予定していますが、ウイルス感染状況を注視しながら開催を決めていきたいと考えています。  
燻竹同好会・・・毎月第3土曜日に開催します。
- ② PC、スマホ等の勉強会・・・希望者を募って勉強会を開く計画を考えています。
- ③ 同好会活動というより、「たけくらぶ」全体として竹紙作り 竹炭焼きを検討します。

## III. 活動資金の調達

- ① 令和元年度は全ての必要経費を合わせると約100万円(令和2年度はコロナ禍で参考とならず)でした。
- ② コロナ禍での国内経済状況により今後は国の交付金援助が不透明です。申請最終年度(令和3年度)の交付金は多少減額されましたが戴けるものと思われます。しかし、2年先はわかりませんので、活動資金の調達法を考えるPT(プロジェクトチーム)作って将来に備えます。  
考えられるものとして、現在行っている竹細工販売、イベント開催時の謝礼などの他に民間の助成金申請、有償での短期間竹林整備・粉碎、竹で作ったお土産品セット、筍の缶詰、竹皮収集、その他の収入源等も検討して参ります。

## IV. 展望の館/庭園の活用

- ① 竹細工体験教室に竹紙作製や竹灯り作製が出来る様体制を整えます。
- ② 自然環境保全の為に紙袋使用を継続し、竹を材料とした環境対応商品の製品化の実現を検討します。
- ③ 令和2年度は展望台並びに展望台下の庭園をかなり整備しました。今年度は更なる改善を検討し庭園整備の充実を図ります。

## V. その他

- ① 安全管理、交流活動(イベント活動)、広報活動は従来通り継続します。
- ② 会員の親睦はコロナ収束の状況を見て判断しますが、ワクチン接種が広範囲に行きわたるまでにかかなりの時間を要しますので当分は開催困難であると思われます。
- ③ HPをより有効に活用すると共に、QRコードの積極的使用、ネット活用により若者にもアクセスが容易に出来る様工夫します。

